

今後の取組について

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 持続可能性局

2025年6月30日 第13回持続可能な調達ワーキンググループ

1.今後の調達コードに関する運用について



- チェックシートの確認に加え、万博会場等で以下活動を予定。
 - ・持続可能性(人権、調達コード、資源循環、脱炭素)の観点での「SUSパトロール」
 - ・特に留意している労働・人権、個別基準(木材、紙、農・畜・水産物、パーム油)の遵守状況を 確認するための巡回・確認
 - ・調達コードに関する表彰対象の調査・確認
 - ・通報受付対応(グリーバンス・メカニズム)の運用
- 通報受付対応については、閉幕後も2025年12月末まで受け付けることとしており、通報対応アドバイザリー会議や助言委員会でのご意見を踏まえて適切に対応を行っていく。



2.調達コードに関する表彰について



持続可能性の各カテゴリーにおいて表彰を行うこととし、5月に事業者に周知済。

- 表彰項目(調達コード分)
 - ①共通基準部門賞
 - ・先進性、社会的影響力の大きさ、調達コードへの適合度の高さが認められる取組について、その取組主体による宣言や 公表の実施状況を審査し、表彰
 - ②個別基準部門賞
 - ・認証品等及び推奨品目の調達の絶対量及び相対的な調達割合、認証品等及び推奨品目の使用についての取組主体の 宣言、公表の実施について審査を行い表彰
- スケジュール(予定)

7月15日(火) 応募締切

~8月中旬 書類審査(現地確認等)

8月中旬 委員審査・選考

9月中旬 授賞式

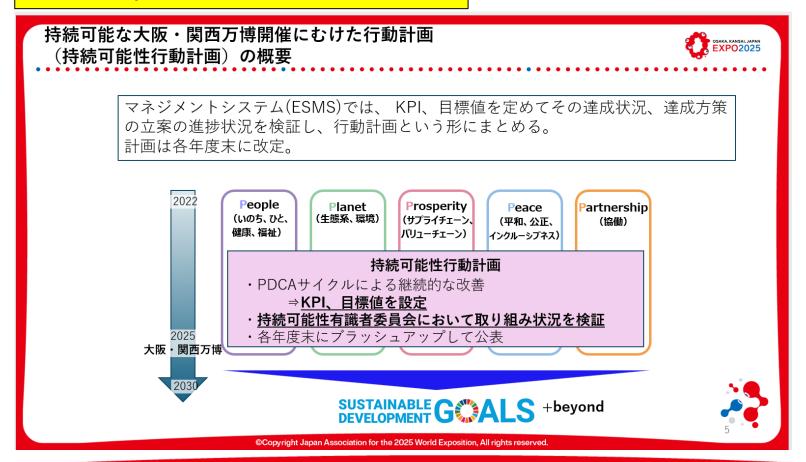


3.持続可能性行動計画(最終報告書)の検討・作成



大阪・関西万博における持続可能性行動計画(最終報告書)については、策定済の行動計画の枠組みを継承する予定としており、調達コードに関する記載は5つのPの中のProsperityの中で記載予定。

(参考) 第12回調達WG資料抜粋





3.持続可能性行動計画(最終報告書)の検討・作成



具体的な内容については、東京2020大会の内容を参考にしつつ、表彰結果、事業者の取組(良い取組、協会から 指摘した内容等)についても記載予定。具体的な内容については、次回の調達WGでご議論いただく予定。

- ●持続可能性行動計画(最終報告書) 調達コードに関する記載項目(案)
- 1. 概要
- 2. 調達コードの策定・普及と運用 (1)調達コードの策定・普及、(2)調達コードの実施・運用
- 3. 持続可能性に配慮した木材、紙、農・畜・水産物及びパーム油の調達
- 4. 通報受付窓口
 - (1)通報の受付・処理の状況、(2)通報受付窓口の取組、(3)グリーバンス・メカニズムの普及 に向けて
- 5. 表彰、優良事例集
- 6. 今後に向けて

[データ]

- ・日本国内における持続可能性に関する認証の普及状況
- ・木材の調達(リング)、紙の調達(ポスター、チラシ、パンフレット)、農・畜・水産物の調達(協会関連発注における 生鮮品)、パーム油製品の調達(揚げ油、石鹸洗剤)
- ・通報受付窓口で受け付けた通報案件の概要

4.今後の調達WGスケジュール(案)



2025年11月頃 第14回調達WG

・調達コード遵守状況(確認・モニタリング状況報告)

·通報受付対応(通報受付対応状況報告)

•持続可能性行動計画(最終報告書)(案)提示

2026年2月頃 第15回調達WG

・調達コード全体総括

